

市政を問う!!

質問者

- 永井 泰仁
- 中原 巳年男
- 古畑 秀夫
- 山口 恵子
- 森川 雄三
- 宮田 伸子
- 西條 富雄
- 鈴木 明子
- 柴田 博
- 中村 努
- 青木 博文
- 金子 勝寿
- 青柳 充茂

※本文は質問者自身の原稿によるものです

一般質問の要旨

未来を担う子どもたちのために

◆図書館の利用推進は

問 市民の読書冊数日本一を目指すことは可能か。(中原巳)

答 同規模の市の中で10位以内に入っている。市立図書館の平成23年度利用冊数は平成18年度対比2.4倍の伸びになっており実現は可能。学校図書館蔵書数は文部科学省の「学校図書館図書標準」を上回っている。

◆学校教材、備品の充実を

問 市内小中学校の教材、備品の充実について、特に高額な楽器類の補充について各校の周年事業等に合わせて購入できないか。(中原巳)



多くの市民に利用されている市立図書館



充実が求められる小中学校の楽器

答 限られた予算の中ではあるが方法を考えていく。

◆いじめの実態と指導は

問 本市の学校での「いじめ」の件数と内容は。(古畑)

答 今年度1学期中、小学校で9件、中学校で7件が報告された。内容はからかいや悪口、無視、持ち物等への嫌がらせなどが主なもので現在では、ほとんど解決している。学校への指導は「いじめ」

は必ず発生するという認識のもと「いじめ対応マニュアル」の見直しと早期発見と解決に向けた早期対応の取り組みの強化を指導している。

◆教育現場に信頼と共有を

問 学校と家庭の信頼関係を具体的にどのように築くか。学校評議員にも、もっと保護者を増やすべき。(宮田)

答 教職員の成長やチーム力

が不可欠と考える。子どもを軸に、教師と保護者がともに成長し、子どもを育てる学校づくりを努める。保護者の声を取り上げ学校運営に活かせる構図を検討し取り入れる。

答 そうするべきと考える。

子どもたちの安全を守る 通学路に

◆通学路の安全確保を

問 通学路の点検結果と対応策の実施予定は。(古畑)

答 危険箇所・要注意箇所を1校当たり3〜5箇所選び出し、関係者が合同で現地を点



通学路の危険箇所の点検